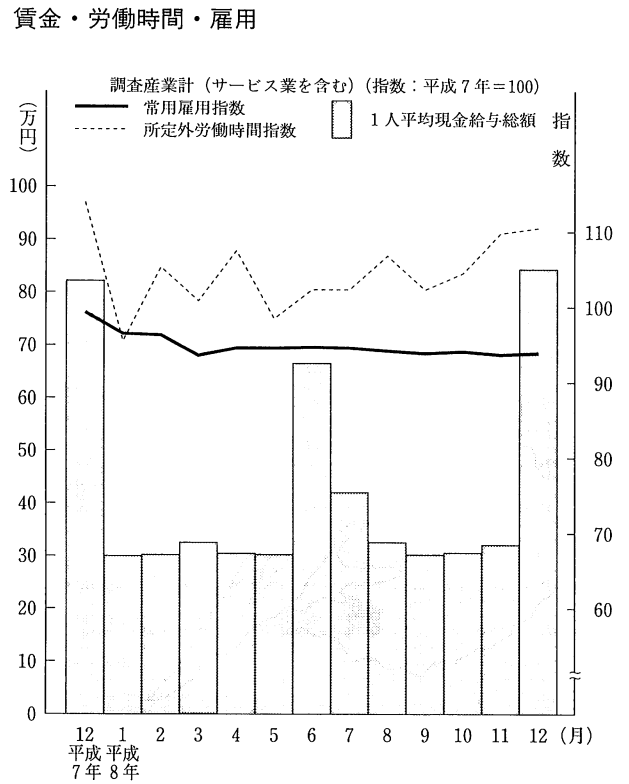
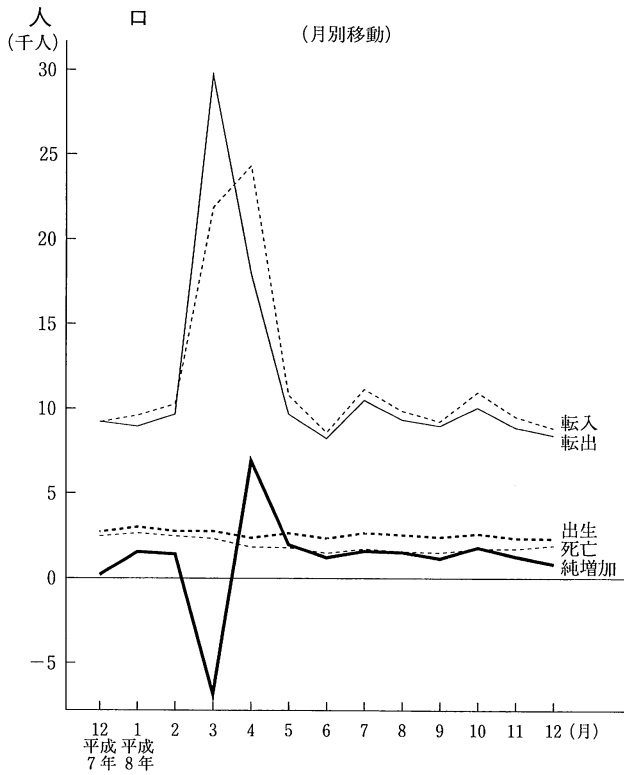
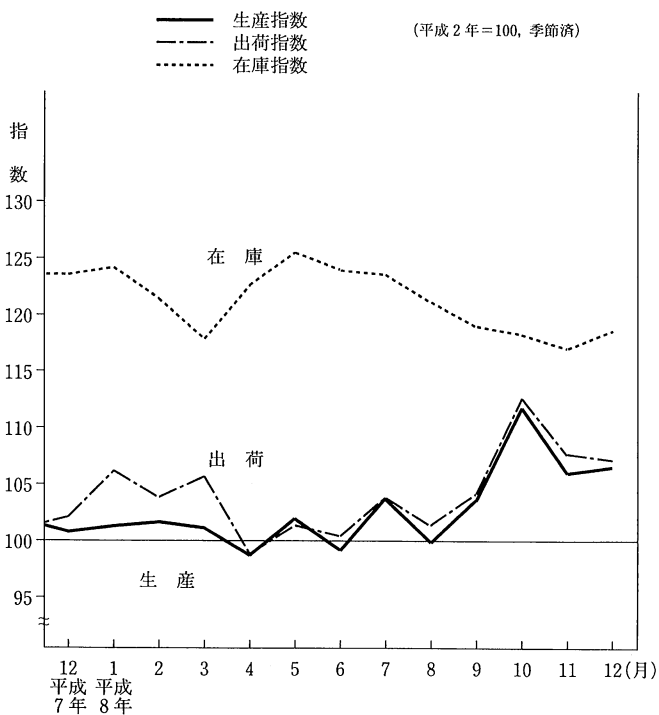


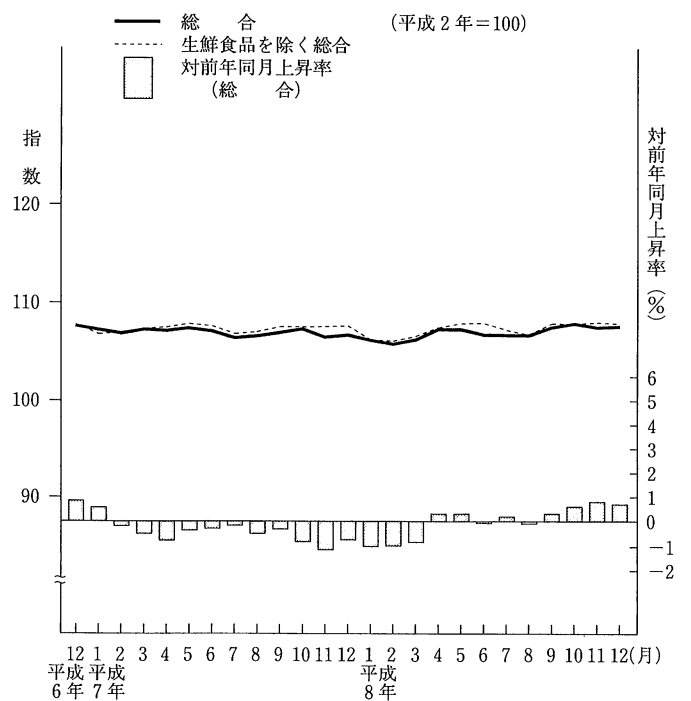
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口（9年1月1日）

本県の人口は、12月中に824人増加し、1月1日現在で、2,972,661人（男1,484,954人、女1,487,707人）となった。内訳は、自然動態で、395人（出生2,315人、死亡1,920人）増加し、社会動態で、429人（転入8,855人、転出8,426人）増加した。前年同月と比べると12,712人（0.4%）の増加で

ある。市町村別では、増加が12市38町村、減少が8市27町村である。世帯数についても12月中に551世帯増加し、941,999世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（8月12月）※8年2～9、11月分については次ページに掲載します。

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で843,570円、対前年同月比5.5%増、このうち、きまって支給する給与は307,007円、対前年同月比3.4%増であった。また、このうち、所定内給与は278,207円、対前年同月比1.1%増であり、超過労働給与は28,800円、対前年同月比3.7%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で163.5時間、対前年同月比6.9%減であった。このうち、所定内労働時間は148.8時間、対前年同月比7.2%減、所定外労働時間は、14.7時間、対前年同月比3.0%減であった。

3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比5.4%減であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（8年12月）

本県における平成8年12月の“鉱工業指数”（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が106.6、出荷が107.2、在庫が118.4で、前月比は、生産が0.7%の上昇、出荷が0.3%の低下、在庫が1.3%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が5.5%の上昇、出荷が5.1%の上昇、在庫が3.9%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、繊維工業、その他工業、電気機械工業等が上昇し、精密機械工業、石油・石炭製品工業、輸送機械工業等が低下した。出荷では、繊維工業、その他工業、一般機械工業等が上昇し、精密機械工

業、鉄鋼業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、食料品・たばこ工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、電気機械工業、鉱業等が低下した。

財別にみると、生産では、鉱工業用生産財、資本財が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。出荷では、その他用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、建設財が低下した。在庫では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財が低下した。

■消費者物価指数（8年12月）

平成8年12月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で107.6（平成2年=100）となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比0.7%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……野菜・海草4.7%、乳卵類3.1%、果物2.5%

今月の下がった主な項目……菓子類1.4%、保健医療用品・器具0.9%

生鮮食品を除く総合は107.9となり、前月比0.1%の下落、前年同月比0.5%の上昇であった。

■費目別指数

（平成2年=100）

区 分	指数	上昇率（%）		区 分	指数	上昇率（%）	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.6	0.1	0.7	保健医療	104.0	△0.1	1.1
食 料	105.1	0.7	0.9	交通通信	98.7	0.0	0.0
住 居	118.5	0.1	1.4	教 育	120.2	0.0	2.9
光熱・水道	102.4	0.0	△0.1	教養娯楽	108.5	0.0	0.5
家具・家事用品	93.8	△0.1	△2.2	諸 雑 費	103.8	△0.1	0.8
被服及び履物	116.7	△0.3	1.7	生鮮食品を除く総合	107.9	△0.1	0.5